

# 地域に「美味しい」をお届けし続ける為に。

## ○ 感謝の想いをカタチに

緊急事態宣言の対象地域が全都道府県に拡大し、国を挙げて新型コロナウイルス感染防止に取り組む事態となりました。暮らしが激変し、様々な制限が強いられる厳しい環境の中、毎日お客様にご来店頂いていることへの感謝の気持ちを申し上げると共に、日々業務に邁進しているスタッフや仕事に専念ができる環境を作って頂いているスタッフのご家族にも感謝申し上げます。そして、私たちが「商い」ができるのも、農産物や商品を作ってくださる方々、商品を卸してくださる方々、店舗まで商品を運んでくださる方々がいらっしゃるおかげです。多くの方々が私たちの「商い」を支えて頂いていることにも深く感謝申し上げます。

さて、私たちのような食品スーパーは、地域のライフラインとして「食」を安定的に供給する役目を求められています。緊急事態宣言が発令されている環境下においても、基本的に食品スーパーは全国で営業を継続しております。生きるために欠かせない「食」をこの地域でご提供する使命、地域の皆様が笑顔で食卓を囲むことができるよう「美味しい」をご提供する使命、そのような使命を持って「商い」をさせて頂いておりますが、一方で、スーパー業態は、沢山のお客様にご来店頂く業態でもあります。それ故に、地域に「美味しい」をお届けし続けるためには、お客様が「安心・安全」にお買い物ができる環境作りとスタッフが「安心・安全」に仕事ができる環境作りが最優先と考え、この3ヵ月間、活動をして参りました。

## ○ スタッフとお客様の「安心・安全」を最優先

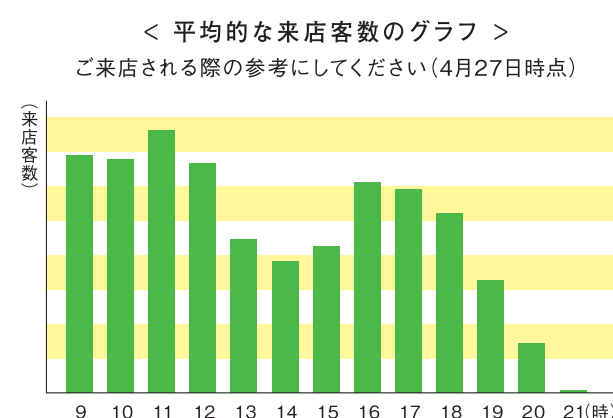
2020年1月31日に「新型コロナウイルス対策本部」を社内立ち上げました。翌2月1日からは県外への出張を原則禁止。店内にウイルスを持ち込む可能性を可能な限り低くすること。そして、大きな影響を受ける可能性がある地元のお取引先周りに、徹底的に時間をかける方針としました。お客様に「安心・安全」にお買い物をして頂き、地域の食卓を明るくするためには、まずは、「食」を提供する側の私たちが元気で、健康でなければなりません。計20回(4月27日時点)の会議を実施し、考えられるリスクを徹底的に想定し、解決策の議論を重ねて参りました。

お客様がご来店される店舗においては、スタッフの健康チェック、消毒液の設置、スタッフのマスク着用、一部店舗の営業時間の短縮、飛沫飛散防止のためレジ周りにアクリルボードを設置、ソーシャルディスタンス実施の観点から床にレーンマークを表示、出入口ドアの開放、お会計後の袋詰め台の増設、必要に応じた店舗への入場制限、店舗間の移動及び本部との往来禁止などの措置を実施しております。また、今後の店内混雑への対応と感染防止策として、各店舗に専任の清掃・誘導スタッフ(入店コンシェルジュ)を配置致します。店頭での消毒液ご利用のご協力をお願い、買い物かご・買い物カートの拭き取り消毒などが実施できる体制を整備し、よりお買い物がしやすい環境作りを注力して参ります。4月23日から順次配置をし、5月1日には全店で清掃・誘導スタッフ(入店コンシェルジュ)の配置が完了します。加えて、ゴールデンウィークの5月1日からイトインコーナーを閉鎖致します。ご休憩やご飲食のご利用を休止させていただきます。ご利用休止期間中は、イトインコーナーに袋詰め台を増設し、店内の混雑回避に努めます。大変ご不便をおかけ致しますがご理解のほどよろしくお願い申し上げます。本部においても、健康チェック、消毒の励行、スタッフのマスク着用、商談の自粛、出張や旅行移動の自粛などの措置を実施致しました。これからも日々変わる状況に対して、お客様が「安心・安全」にお買い物ができる環境、そして、スタッフが「安心・安全」に働くことのできる環境をいち早く整備して参ります。万が一、社内から感染者が発生した場合には、お客様とスタッフの「安心・安全」の観点から、保健所と連携し、速やかに公表致します(4月27日時点でそのような事態はございません)。

## ○ いま、私たちにできること

「美味しい」をご提供する大前提として、お客様とスタッフの「安心・安全」の確保があります。緊急事態宣言が全国へ拡大されたことを重く受け止め、混雑、3密を避け、お客様に少しでもストレスなく日々のお買い物をして頂きたいとの想いから、4月18日より折込チラシの自粛を致しました。5月1日からは、ポイントアップデーも自粛致します。いつご来店を頂きましたらも税抜200円で1ポイントの通常お買い物ポイント等は変わらず付与させていただきますし、当社はキャッシュレス・消費者還元事業の5%還元対象事業者として認定を受けております(※一部の店舗のみ2%還元)。刻々と変わる状況にいち早く対応し、お客様が今、最も求めておられる「価値」をご提供できるよう努力して参ります。タイムサービス商品やポイントアップデーは休止致しますが、今まで以上に「お得な商品」を取り揃え、より一層の充実を図って参ります。特に、食卓に上がる頻度が多い商品、いつもの食卓に欠かせない定番商品は、どの時間帯にご来店頂いても、常にお買い求め頂きやすい価格でご提供させていただきます。お買い物にかかる時間が短くて済むような分かりやすい売場作りに加え、店内放送やPOPなどですっきりと「お得な商品」をアピールさせていただきます。

また、エブリイは、野菜、果物、魚の生鮮品は、各店舗の担当バイヤーが毎日早朝から市場に出かけて仕入れてあります。鮮度が良くて美味しい商品を各担当バイヤーが商人(あきんど)の心と目利きで仕入れてあります。その特徴を最大限に活かし、今までの折込チラシ掲載商品以上に品質、鮮度、美味しさでご納得頂ける商品を仕入れる努力を致します。「エブリイ」という社名には、地域のお客様に毎日(Every day)の冷蔵庫替わりとしてご利用頂きたいという想いが込められています。まさにその想いを体現して参ります。



## ○ スタッフとそのご家族への感謝

新型コロナウイルスの影響で学校が休校になり、お子さんやお孫さんを親御さんに預けて出勤をしてもらったり、働く時間に制約がありながらも可能な限り出勤をしてもらっているスタッフが沢山います。働き方が大きく変わり、厳しい環境の中においても、「食」の提供というスーパーマーケットの使命に対して、早朝の市場仕入、開店準備、品出し、商品加工、調理、レジサービス、発注など最前線の現場で頑張ってくれているメンバー。商談、人材採用、システム構築、事務処理業務など、本部メンバー約120名も、新型コロナウイルス対策によるイレギュラー業務をこなしながら、本当に頑張ってくれております。そして、日々業務に一生懸命汗を流すスタッフをご家族が支えてくださっています。

スタッフ、そして、スタッフを支えているご家族の皆様へ、感謝の想いを込めて、4月17日に4,400名を対象に感謝金を支給させていただきました。また、勤務時に使用するマスクとは別に、プライベートも「安心・安全」に過ごしてもらい、安心して勤務をしてもらいたいとの想いから、自宅用としてスタッフ1人につき1箱(50枚入)のマスクを4月30日より順次配布致します。また、小中高校などの休校の影響によって、お子様が自宅を過ごす時間が長くなることから、3月には希望するスタッフにアニメDVDを配布致しました。さらに、休校期間の延長を受け、保育園・幼稚園から高校生までのお子様がいるスタッフ1,200名のご家庭に、スタッフ1人につきお米10kgを4月24日から順次支給致しております。今後も、地域のライフラインを支えるという強い気持ちを持って勤務してくれているスタッフ、並びに支えて頂いているご家族への感謝の想いをカタチにして参ります。

## ○ 地域に「美味しい」の輪を広げる — 私たちの目指すこと

前述したお米は、私たちのグループの外食部門と長年取引のある企業様から総重量で12tのお米を購入させて頂いております。新型コロナウイルスの影響を受け、飲食業界はお客様が激減し大変な打撃を受けております。飲食店に特化しお米を卸されていた企業様からお米を購入させて頂き、私たちのスタッフが食べることで、少しでも地元企業様のご支援につながると考えております。週れば、私たちも商売で苦しい思いをした時、地元の間屋さん、地元の市場の方々が助けてくださいました。助けてくださった方々のお蔭で、今があります。ご縁を頂いた地に出店をさせて頂き、商売をさせて頂くことは、地域社会の中でこれから共に生きるということです。今私たちにできることは、身の回りで起きていることを知り、力相应にご支援をし、寄り添う気持ちを持つことです。お米の支給はその一環です。私を含め、スタッフが地域の皆様に生かされていることに感謝し、地域社会の中で共に支え合う存在でありたいと願っております。

私たちのグループの外食部門も新型コロナウイルスの影響を受け、お客様が激減しており大変なダメージを受けております。11店舗が営業できず、休業に追い込まれています。長いお店では、既に48日間も営業ができておりません(4月27日時点)。営業ができていない店舗も、大変なダメージです。エブリイでスタッフを受け入れる等、グループ会社として最大限の支援をしておりますが、支援の過程で「地域の飲食店さんも大変な思いをされて商いをしておられるはず」という思いに至りました。「美味しい料理で地域の方々に喜んで頂きたい」、きつと志をお持ちになって起業されたに違いありません。

そのような中、社内で3月3日に立ち上がった「地産地消! 地元飲食店盛り上げ隊プロジェクト」。これは、私がプロジェクトの立ち上げを指示したのではなく、自主的に、副社長を中心に20~30代の若手スタッフ6名が、立ち上げてくれたものです。想いを共有でき、実行に移してくれるメンバーの姿をとても心強く思いました。最初は、社内でアンケートを取り、地元で愛されている飲食店さん、親しまれている味で人気の飲食店さんの情報を集め、1軒1軒実際にプロジェクトメンバーで食べに出かけ、商品の購入もさせて頂きました。美味しさはもちろんのこと、スタッフの方々とお話をさせて頂くことで、お店が支持されている理由を知り、同時に私たちの想いも知って頂きました。「地域の飲食店さんに喜ばれることって何だろうか」を議論し合い、「エブリイ敷地内のスペースの期間限定無償貸し出し」と「飲食店さんの弁当や惣菜をエブリイ店内で販売」することを考えました。「エブリイ敷地内のスペースの期間限定無償貸し出し」については、4月2日からスタートし、緑町店と駅家店の2店舗で実施。22店の飲食店さんに来店頂いております。「飲食店さんの弁当や惣菜をエブリイ店内で販売」については、11店の飲食店さんから商品ご提供を頂いております(4月27日時点)。

まだ始まったばかりのプロジェクトですが、地道に飲食店さんを回って営業をしていた当初からは想像ができないほどの大きな反響に私たちも大変驚いております。まずは、福山から始めたプロジェクトですが、メンバーを新たに3名追加し、可能な限りスピードアップをして対応を致して参ります。今後も「美味しい料理や商品を地域の皆様に届けたい」という同じ志を持った飲食店さんと一緒に活動を広げ、順次拡大をして参ります。今年のゴールデンウィークは、例年のように外出ができませんが、せめてご自宅で外食気分を味わって頂ければと思います(※エブリイ敷地内のスペースの期間限定無償貸し出しについては、5月末までを予定しております)。

## ○ 商人魂(あきんどだまし)

エブリイ創業時のロゴには、さくらんぼのイラストが使用されていました。人と人が支え合うというメッセージが込められていました。「商い」の原点は、周りの人に喜んで頂くこと。そして、目の前の売上ではなく、今日のお客様の満足度を追求すること。私たちはそれを商人魂(あきんどだまし)と呼んでいます。工夫をするからお客様に喜んで頂ける。お客様に喜んで頂けるから、さらに工夫する。時代とともに「やり方」は変わっていきますが、創業から続く私たちの「あり方」は変わりません。このような状況だからこそ、お互いお互いに対して、格別に、より親切に行動できるよう、「人」「食」「地域」を豊かにあたたくする会社でありたいと願っております。

先日、ある店舗に来られたお客様が「よう頑張ってるね」と手作りマスクをスタッフにプレゼントしてくださりました。また、あるお客様は思うように外出ができないので、気分が沈んでいたようですが、エブリイに来店され「元気をもらった」とおっしゃっていただきました。「毎日大変だろうに本当にありがとう、頑張ってるね」とあたたかいお言葉をかけてくださるお客様もおられます。スタッフがどれだけ支えて頂き、励みになり、勇気を頂いたことかわかりません。「スーパーで働いていて良かった」、「地域の役に立てて良かった」と沢山のスタッフが頑張ってくれています。私たち以外のスーパーさんでも、きつと同様にお客様からお声をかけて頂き、励まされているスタッフの方々が沢山いらっしゃると思います。お客様のあたたかいお言葉にスーパー業界で働く沢山の方々が救われ、感謝をしているのではないかと思います。

大変な世の中になり、暗いニュースが続いております。先行きの見通しが立たない不安感から、つい気持ちも沈みがちになります。そのような時でも、「美味しい」食べ物や飲み物を囲む時は、少しでも楽しい雰囲気になるのではないかと思います。私自身も、出張や会食がなくなり、自宅での食事をすることが多くなり、改めて「食卓」というものを深く考えるようになりました。このような時だからこそ、鮮度、旬、美味しさにこだわった「食」を提供し、地域の食卓を少しでも明るくするご提案ができれば幸いです。私たちは「食」でしか地域に貢献することができません。支えて頂いている多くの方々への感謝の想いをカタチにして、少しでも地域社会に貢献ができればと考えております。お客様にもスタッフにも「愛されるお店に」、そして「いい会社づくり」を目指して参ります。

